



水土里情報を活用したサトウキビ病害虫予防薬剤散布地図について紹介します

(1/2)

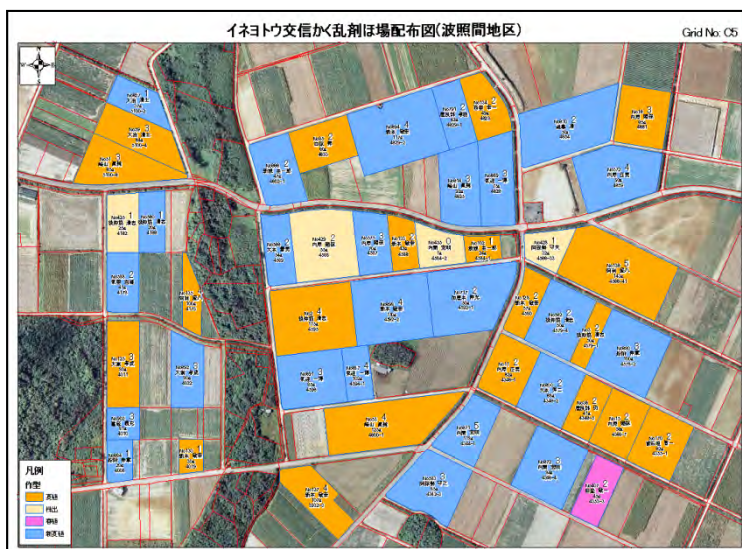
今回紹介する団体：水土里ネット沖縄
沖縄県水土里情報利活用推進協議会

取組概要

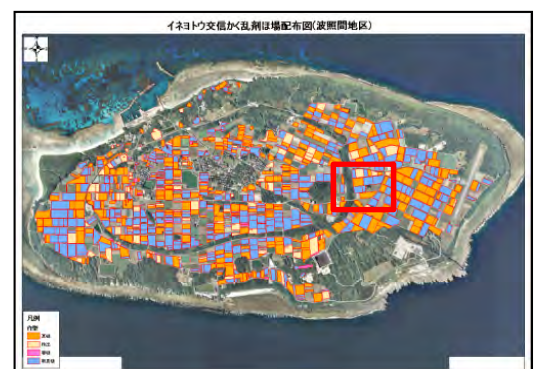
内容：……沖縄県竹富町波照間島のさとうきびほ場において、水土里情報利活用促進事業にて整備した農地筆データと航空写真を活用し、イネヨトウ用交信かく乱剤配置地図の作成を行った。

経緯：……①近年、沖縄県の本島一部地域および離島のサトウキビほ場においてイネヨトウ(病害虫)の発生が多い状況にあることが確認され、今後の被害拡大が懸念された。いったん発生すると茎内部に入り込む為駆除が困難であることから初期段階での予防が重要となるが交信かく乱剤は新しい試みで高価なため、散布対象ほ場の面積把握、薬剤の配置作業に伴う労力が課題となった。

②町役場、またはその地区の製糖工場が管理しているほ場データ(耕作者・大字・地番・ほ場面積・作型)を農地筆データと突合し、ほ場面積をもとに計算した交信かく乱剤の配置個数と対象ほ場を表示した地図を平成24年度より水土里ネットおきなわにて作成。



(詳細地図)

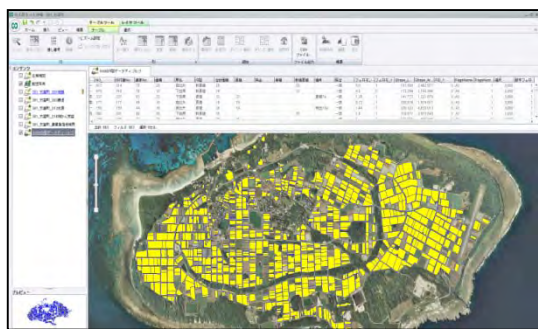


(全体地図)

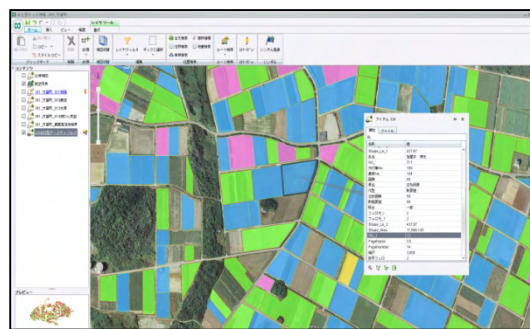


期待される効果

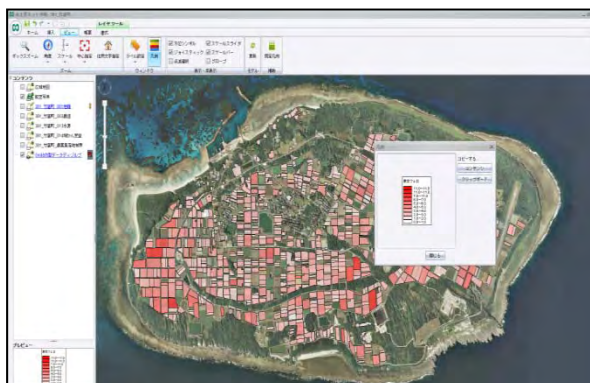
- ①現場での配置作業時に地図の活用によって対象ほ場の特定が容易となり、防除作業の効果・円滑化・負担軽減が見込まれる。
- ②地図の作成により配置作業計画が立てやすく、明確にできることから人員の適切な配置や動員を事前に確保できる。
- ③作成したシェープファイルを水土里クラウドで表示する事で、現地にて防除対象ほ場の情報共有・管理、今後の比較や分析に活用できる。



(水土里クラウド表示イメージ①)全体図



(水土里クラウド表示イメージ②)作型での識別



(水土里クラウド表示イメージ③)統計による濃度分布

今後の活用予定

今後は、病虫害防除における「トラップ調査」、「侵入警戒調査」、「発生源特定」等、根絶防除に向けた基本計画に必要な情報共有を水土里クラウドにて関係機関・団体で情報を共有していく考えである。

■お問い合わせ先

沖縄県土地改良事業団体連合会(会員支援課 水土里情報班) 098-888-4511

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(横田、溝添 03-6744-2212(直通))